

元小學教員が…… 好人物の男を騙し 遂に發狂さす

極りなき其の惡辣手段

平町古鍛冶町和泉寅之助方居住東京府生れ元小學教員員田定義(義)はもと平窪好間、鹿島、の各團學校に教員を
奉職した 事ある男であるが大正十五年五月から本年三月二日迄石城郡平窪村大字鯨岡字中根ザル製遺業松崎寅吉方に同居し其間の宿料を支拂はざるのみ種々嘘萬八を並べたて寅吉より四百圓近くの金を借

町民體育大會役員

愈々會場が近づく

既報來る十七日午前九時より磐城中等學校グラウンドに於て開催される平青年團主催第二回町民體育大會役員左記の如くである

御大禮講演

神職會が主催

石城郡神職會支部にては十日午後一時から元郡會議事室にて御大禮に關する講演會を開催する筈であるが講師は國學院大學教授植木直一郎氏である

平町入營兵

所屬部隊判る

平町の本年度入營兵左記の如くである

如くである
▽步兵第二聯隊、秋元秀雄、船山太一、橋二郎、酒井篤之助▽同第二十九聯隊、三浦嘉美男▽獨立守備步兵、菊地圓次郎▽横須賀主計、鳥海久助

新川に流れて來た 老婆の溺死体

悔に行き途中で
逆巻く激流に吞まる

昨日午後六時頃平町元郡役所附近の新川に老婆の溺死体が見つかり居たのを通行人が発見大騒ぎとなつたが右は相馬郡富岡町字小浪濱農根根エイ(マ)が石城郡内郷村大字宮の親戚に不幸が出来て悔に行き途中で激流に吞まれ溺死したものと判明した

破片突刺り

坑夫の慘死

石城郡警備村藤原炭礦坑夫岩瀬龜治(ニ)は九日午前十一時半頃坑内にてダイナマ

町内の警備

消防と火防組が

聖上陛下大演習よりの御還幸列車御警備の爲め平警察署員出動すべきに付き平消防組及び各區の火防組は本日より翌日迄町内の警備に



家庭關

季節の遺物

やたら漬キヤベツを千切るとし人參は短冊切とし白瓜は二つ割として種を去つて小口切りとし青紫蘇と生姜は千切りとし茄子は薄く小

新天理教の…… 不敬漢に懲役一年

本日平支部で言渡さる

既報平町四丁目居住茨城縣北相馬郡小金村生れ新天理教傳導師瀧川幸一郎(ニ)同人内縁の妻栃木縣上都賀郡眞名子村生れ坂本フク(ニ)の兩名に係る不敬事件は本日

四季櫻満開

近在から見物人

磐城東線赤井驛前の四季櫻が秋の彼岸も過ぎた昨今薄桃色の花を咲かせた此の櫻は老樹で氣候に依つて咲かない時が多く數年來一輪の花も持たなかつたのが今年

加藤丈夫氏の愛馬が 開成山競馬で第一等 賞金及び銀盃を獲得

昨今各地とも馬匹改良獎勵の爲め競馬熱が盛んになり競ふて愛馬を出場せしむる事に努めて居るが平地方からは未だ競走馬の出場を見事がないので石城郡内郷村小島加藤丈夫氏は甚だ是れを遺憾とし先年來飼養して居た内國産洋種牝馬栗毛三歳の「タイラ號」を今回の開成山競馬會に出場せしめし處優勝馬競走に於て第一着の月桂冠を擔ふに至り懸賞金及び三ツ組銀盃を獲得

京阪の旅から

一平・商・京・阪・旅・行・團
(第一信)冷たい淡いあかり待ちあぐんが、なつかしい今日といふ今日の曉色がたまらぬ嬉しさをもたらす午前六時五十九分中村、山内兩先生に引率せられて京阪の旅路についた、とり、嬉しく思ふのは吉田校長先生はじめの諸先生、ならびに親愛なる校友諸君のお見送りである。若い旅姿のい

くのだれにも、美しい感傷がゆらめいて、わけもなくたかくなる胸の懐ひが止みさうもない。吾等の先輩大和田東京支部長をはじめ多數の支部の會員諸兄に迎へられた上野驛に着いたのが晝一寸と過ぎた。東京！はつきりした心とばつちりした瞳とを暫し復雜なよめを起した吾等の純な旅心が文明と腐蝕されて行くやうな暗い哀しみが胸奥からチヨイチヨイと頭をもたげる。慌だしい電車や自動車のひびきに、氣まぐれな神経がいたましく刺戟される、空は灰色に曇つて今にも雨が降りそうだが、天を案ずる輩は空ばかり睨んで上野の丘をあるく數多い

櫻には秋まだ浅いのにもう寂しい霜葉が彩つてゐる。動物園を觀る、小憩の折大和田支部長から支部の現状や將來などのお話を聞いた、支部會員の活動なんか話してもらつた。みなシミシミと感動せしめられた、動物園は面白いもの、一つであつた遠い異國の小禽のむれ、印度の白い孔雀鐵柵の中の白熊の猛し、吼え、やさしい女性的な白鶴、こう数へくれれば限りないがほんとうに時間が許さなれば。地下鐵道で淺草に行く観音様を拜す、危んでゐた空はとうとう降り出してしまつた。何館、何座といふ劇場街を通つて宮城に向ふ、超俗的な清いお堀の水のさはやかさ、永

久の松が緑の影を寫して平和な空氣が軽く漂つてゐる。あ、かなた九重の嚴な零圍氣にひたつて二重橋外清き眞砂の上に佇立して遙かに雲井の奥を拜した心には國體の特殊なる誇りと吾等の幸福とを込み、と感した。雨はまだ止まない、九時に夜汽車の人となる(六日車中にて)
八犯男踏倒し 石城郡飯野村大字荒川農詐欺前科八犯志賀光彌(五)は八月卅一日午後七時頃平町十五丁目條田屋旅館に宿泊し蕪市場へ行つて來るに酒肴料二圓卅錢を踏み倒し逃走せる事平署の探知する處となり鯨岡警部補取調中